seeing you off
until I can't see you
summer field
/ Shiki 1895



ハンカイソウ（四国カルスト）



愛媛大学校友会 子規俳句カレンダー 2023年6月

EUAA 愛媛大学校友会
Ehime University Alumni Association

校友会報

No.12 2026.11発行

EUAA 愛媛大学校友会
Ehime University Alumni Association

発　　行　2026年11月
発 行 者　愛媛大学校友会事務局
印　　刷　セキ株式会社

発行：愛媛大学校友会事務局
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609
E-mail:office@koyu.ehime-u.jp
webサイト:https://www.koyu.ehime-u.jp/

愛媛大学校友会 前会長 髙橋 祐二
会長退任にあたり



愛媛大学校友会会長退任にあたり、ご挨拶させていただきます。

私は、2004年（平成16年）の愛媛大学校友会発足時に、元学長でいらっしゃる鮎川先生からのご要請もあり、副会長に就任しました。その後、前任の森本会長の下で副会長として12年、そして2016年（平成28年）に会長に就任してからは10年と、発足当時から22年もの長きにわたり、校友会に関わらせていただきました。副会長および会長在任中は、歴代の学長や校友会会員・同窓会の皆様など、多くの関係各位に校友会活動へのご理解とご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

私は大分県出身で、1972年（昭和47年）に愛媛大学工学部に入学しました。大学時代を振り返りますと、学業よりも課外活動での思い出が多く蘇ります。私は自動車部に入部したのですが、運転免許を取得したらヨット部へ転部しようと考えていたものの、当時は先輩・後輩の人間関係が濃密で、結局辞めたいと言い出せないまま4年間自動車部で活動しました。

この課外活動の経験で得た最大の財産は、人間関係を築くためのコミュニケーション力と、かけがえのないたくさんの仲間です。1976年（昭和51年）に大学を卒業して三浦工業株式会社に入社すると、仙台を皮切りに、厚木、津、名古屋、東京へ赴任し、このコミュニケーション力を活かすことができました。そして約28年ぶりに松山に戻り、すぐに社長に就任したのですが、当時、ほとんど知り合いがいなくなっていた私を元自動車部の仲間たちが気遣い、社長就任後、自動車部OB会を立ち上げ、私を励ましてくれたことを思い出します。お蔭で、今も自動車部OB会は継続しており、皆との良好な関係が続いています。

さて、私が在学していた頃と比べると、愛媛大学は、少子高齢化・人口減少という時代の中にあっても、地域に貢献する大学として大きな進化を遂げています。地域課題の解決や医療の提供、グローバル人材の育成を担い、地域社会の持続的な発展に不可欠な四国最大の総合大学へと成長しています。愛媛大学校友会においても、今後とも愛媛大学の成長を支え続ける「真の応援団」として、一層その役割を果たしていかれることを心から期待しています。

結びに、愛媛大学校友会ならびに愛媛大学の益々の発展と、校友会会員の皆様、関係各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



会長就任時



学生団体援助金交付式にて学生と懇談



男声合唱団「ダンディーズ」

愛媛大学校友会 会長 米田 剛
就任のご挨拶



愛媛大学校友会会員の皆様には、平素より当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。このたび会長を拝命いたしました、米田でございます。長きにわたり校友会の発展に尽力されてきた歴代会長ならびに役員の皆様に深く敬意を表するとともに、その重責に身の引き締まる思いでおります。微力ではございますが、愛媛大学および校友会のさらなる発展に向けて全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は1991年3月に農学部農業工学科を卒業後、三浦工業に入社しました。水処理事業に長く携わり、2024年4月から社長を務めています。愛媛大学は、そんな私の人生の基礎を築いたかけがえのない場所です。多くの先生方や仲間との出会いを通じて、専門知識だけでなく、社会人としての考え方や人とのつながりの大切さを学びました。仁科学長にご指導をいただいたことにも深いご縁を感じており、大学時代に培った経験や人脈は、今日までの私自身の成長を支える大きな財産となっています。

近年、社会は大きな変革の時代を迎えています。人口減少や少子高齢化、デジタル技術やAIの急速な進展、グローバル化の進行などにより、私たちを取り巻く環境はかつてないスピードで変化してきました。そのような中、大学に求められる役割もますます大きくなっています。高度な教育と研究を通じた人材育成はもちろんのこと、地域社会の課題解決や新たな価値創造の拠点として、愛媛大学への期待は一層高まっていると感じています。

校友会には、その愛媛大学と卒業生をつなぐ重要な役割があります。全国各地、そして世界で活躍する卒業生が互いにつながり、知見や経験を共有しながら母校と地域社会の発展に貢献することは、大きな意義があります。校友会が世代や学部、職業を越えた交流の場となり、若い世代にとっても魅力ある組織として発展していくことを願っています。また、学生の皆さんにとっても、校友会は卒業後も母校や先輩・後輩とのつながりを育む大切なネットワークです。特に、先輩方との交流を通じて将来の可能性を広げ、社会へ羽ばたくための一助となるような活動を充実させていきたいと考えています。このように、卒業生が母校を支え、母校が次の世代を育て、その卒業生が再び社会で活躍するという好循環を築いていくことが、校友会の重要な使命です。

今後も役員の皆様、会員の皆様、そして大学関係者の皆様と力を合わせながら、校友会活動のさらなる活性化に努めてまいります。会員の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、愛媛大学のますますの発展と、会員の皆様のご健勝ならびにご活躍を心よりお祈り申し上げ、会長就任のご挨拶といたします。

〈プロフィール〉
1968年愛媛県松山市生まれ。
1991年愛媛大学農学部卒業、同年に三浦工業株式会社入社。
2024年より同社代表取締役社長執行役員CEOに就任。
その他役職　愛媛県職業能力開発協会会長、愛媛県技能士会会長、
松山商工会議所副会頭、愛媛県商工会議所連合会副会頭など。
2026年7月に愛媛大学校友会会長に就任。

CONTENTS

先輩学（先輩に学ぶ）・特別号	04
大学の式典	06
準正課教育支援事業	07
課外活動支援事業	08
資格取得支援事業	08
学生募集活動支援事業	09
就職支援事業	09
海外派遣支援事業	10
ホームカミングデイ	11
令和7年度事業報告	11
国内支部	12
海外支部	13
サークル紹介	14
学部同窓会からのお知らせ	16
講演会開催事業	18
子規俳句カレンダー	19
令和8年度校友会理事会・懇親会開催	20
令和7年度決算及び令和8年度予算	21
大学からのお知らせ	22
校友会会員の皆様へ『WEB登録』のお願い	23

EUAA 先輩学（先輩に学ぶ）・特別号

愛媛大学公認団体である「愛媛大学スチューデント・キャンパス・ボランティア（SCV）」の9つの団体の内「メディアサポーター出版部（MSPT）」に所属する学生スタッフが、愛媛大学を卒業（修了）後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を訪問し、先輩の生の声を取材掲載する「先輩学（先輩に学ぶ）」を校友会ホームページに連載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

今回は特別企画として、本年7月に就任された校友会新会長へインタビューしました。

三浦工業株式会社

代表取締役社長執行役員CEO 米田 剛 氏

（取材日：令和8年9月18日 場所：三浦工業株式会社・松山本社）





■ 現在の職業を選んだ理由やきっかけを教えてください。

三浦工業のことはCMを見て知りました。当時は世の中の経済が良く、三浦工業も順調に伸びているとのことで関心を持ちました。また、地元の企業だったことも理由の一つです。所属が農学部農業工学科だったのでなんとなく機械関係の仕事に就きたいと思っていました。高い志を持っていたとかではなかったですね（笑）。それで、大学に求人が来ていたので応募しました。今のように求人や会社の情報を手に入れることも簡単ではなかったので、大学に来ている求人に応募することが多かったんですよ。

■ 社長として大切にしていること、気を付けていることがあれば教えてください。

いろいろな人の意見を聞くことです。当社は国内外に支店を持っています。そのため、話を聞きに月に二回、支店を巡るようにしています。支店の人と話をするだけでなく、お客さまとも話をするようにしています。自ら出ていかないとお客さまとは話せないし、社員の話も聞けません。だからこそ、松山から出ていろいろな情報を取り入れる。そういったところは気をつけるようにしていますね。

■ 三浦工業のPRポイントを教えてください。

人材育成も含めて、社員を大切にする会社です。当社の創業者の言葉に「仕事には厳しく、人には優しく」というものがあります。私も入社して35年になりますが、仕事でミスをしたことがあります。そして皆さんも今後の社会人人生でミスを犯すときはあると思います。ミスをしたときには、なぜ起きたのか、なぜ防げなかったのか、次はどうすれば起こらないのかといった仕組みを考えることが重要です。ミスを学びに変え、挑戦できる風土が当社の良いところだと考えます。また、海外に駐在している社員も多くいます。最近では海外で力を試したいと考え、当社に入ってきてくれる方もいます。日本に限らずいろいろなところで自分の力を試せることも良いところだと考えます。

■ 在学時の思い出を教えてください。

小さい頃から野球をしており、先輩に誘われたのもあって、愛大の野球部に入りました。ただ、途中でやめました（笑）。僕たちの時代はバイク、特に未舗装の山道のコースを走るオフロードレースが流行っていました。私は中古のワンボックスカーを買って、バイクを積んで全国のレースに参加していました。オフロードレースは大学時代、最後まで力を入れて頑張ったことだと思います。また、大学生になって行動範囲が広がったこと、アルバイトや大学で多様な人と触れ合ったことで、異なる考え方、感じ方を体感できたことも思い出です。



■ 在学時に特に学ぶべきことや、学生生活においてのアドバイスをお願いします。



まずは「学び続ける」ことです。技術の進歩により、世の中は常に変わり続けています。社会人になったとき、大学で学んだ知識が通じるとも限りません。だからこそ、世の中に合わせて自分から学び、新しいものをどんどん取り入れて変わっていくことが必要だと思います。また、「最後までやり遂げる」ことも重要だと思います。例えばサークルとか、アルバイトとか。一つのことに集中し、「これだけはやり切った」経験ってすごく大事だと思うんですね。それは社会人になっても同じで、逃げずに最後までやり遂げることは、信頼につながります。だから、学生のうちからこういった経験をしておくと、将来仕事をやっていくとき役に立つと思います。あとは遊びでも趣味でも、いろいろなことに興味を持つことも大事だと思います。



■ 就職活動にあたっての心構えや注意事項について教えてください。

一番は、自分が何をやりたいか、調べている企業がどんな会社なのかを知ることだと思います。今は、昔に比べるとインターネットが発展して、得られる情報も多くなっています。また、キャリア採用を導入する企業が増えてきていて、転職による人材の流動化も進むかもしれません。でも、企業の思いとしては、人材のミスマッチを防ぎたい。だから、自分のやりたいことや、行きたい企業についてしっかり調べることが大切です。その上で、インターネットだけでは分からない情報、生の雰囲気を、実際にインターンシップに行くことで体験するといいと思います。



インタビューを終えて

愛媛大学メディアサポーター出版部（MSPT）
渡部（取材時：法文学部2年）、尾中（取材時：法文学部1年）、川井（取材時：法文学部1年）

【渡部】

今回の先輩学は特別企画ということで、不安と緊張を抱えながら取材に挑みました。終始優しい笑顔で遊び心も交えながら質問に答えてくださったため、私自身も楽しみながらインタビューに臨むことができました。インタビューの中で「人とのつながり」や「自分とは異なる考えの人の意見を聞くこと」の重要性を学びました。学生時代に培ったそのような経験が社会人になったときに影響するのだと感じました。改めて学生時代の過ごし方が社会人になったときの自分を形作ることに気づきました。なんでもできる今だからこそ、やりたいことをやっていこうと思いました。

【尾中】

インタビューを通して、米田社長の気さくな人柄が印象に残っています。中でも、大学時代の思い出として、バイクやアルバイトについて楽しそうにお話しされていたことが心に残りました。アルバイトなどを通して多様な人と関わったという米田社長の大学生活は、社員さんやお客様のお話を聞く、現在のお仕事の姿勢にもつながっているのだと感じました。私自身も大学生活の中で多くの人と出会い、多様な価値観を知り、将来に活きる力を育てていきたいです。そして何より今回米田社長のインタビューをさせていただいたことは非常に貴重な経験となりました。今回得た学びを今後の大学生活に活かし、さまざまな経験を積んでいきたいと思います。

【川井】

大企業である三浦工業の社長に取材させて頂くということで緊張していましたが、とても気さくな方で、談笑交じりに質問に答えてくださり、社長の人柄を実感しました。また今回の取材で、「学び続ける」「最後までやり遂げる」という言葉を聞き、社長自身も、実際の職務の中で学ぶことをやめず、成長してきたことを知りました。私も、今後の学生生活では、様々なことに目を向け、学ぶ姿勢を持ち続けたいと思いました。就活については、インターンだけでなく、今のうちからインターネットを使ってどのような職業が自分に合っているのか、どのような職業に興味があるのかを調べ、後悔のないようしっかりと準備を進めていきたいです。

EUAA 大学の式典

入学生・卒業生に記念品を贈呈しました。

令和7年度学位記授与式が挙行されました。

令和8年3月24日（火）、愛媛県県民文化会館メインホールにて令和7年度愛媛大学学位記授与式が挙行され、1,764人の学部卒業生、479人の大学院修了生に学位記が授与されました。

仁科弘重学長から代表者に学位記が手渡されたあと、「皆さんは、自ら学び続けることによってアップデートした科学的知識を基に、自ら論理的に考え、新たな価値を生み出し、将来のビジョンを描けるような、創造性豊かな人間に成長してください」とはなむけの言葉がありました。

次に、髙橋祐二校友会会長からの祝辞では、「皆さんが大学生活で培った知識・技能・経験のみならず、共に過ごした同期生をはじめ先輩や後輩との人間関係は、間違いなく人生の糧となります。それらを礎に、これからは社会で、あるいは大学院で、グローバルな視点を持ち、自ら考え行動する人間を目指していってください」と激励の言葉が贈られました。

これに対し、学部卒業生を代表し、法文学部の伊藤結稀さんが、「大学生活で培ったことを大切に、それぞれの道を力強く歩みます。そして、失敗を恐れることなく挑戦を続けます」と答辞を述べました。続いて、大学院修了生を代表し、教育学研究科の柚山由紀野さんが、「研究とは、自分の考えを深めるだけでなく、社会的課題の解決に貢献してはじめて成立する営みであることを実感しました。大学院での研究成果を生かして、今後は教育者として精進してまいります」と答辞を述べました。







卒業生に贈呈した今治タオル

令和8年度入学式が挙行されました。

令和8年4月6日（月）、愛媛県県民文化会館メインホールにて令和8年度愛媛大学入学式が挙行され、学部学生1,921人、大学院学生560人が入学しました。

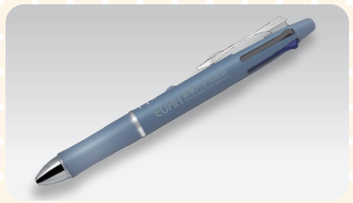
仁科弘重学長から、「愛媛大学在学中に、『アントレプレナーシップ』、すなわち、『新しい価値を生み出すための創造性や革新性に基づいた行動』ができる人に必要な考え方を修得してほしいと思います。そのためにも、『新たなことを学び続ける気持ちと習慣』を是非とも身に付けてほしいと思います」と新入生へメッセージを送りました。

続いて、髙橋祐二校友会会長から、「この愛媛大学で、勉学に励み専門性を高めるとともに、高い志と幅広い視野、多様性を理解し受け入れる広い心、そして目標を実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップを身につけてください」と祝辞をいただきました。

これに対し、学部入学生を代表し、農学部の渡辺泰地さんが、「専門分野の学びを深めることはもちろん、多くの経験を通して視野を広げ、自らの可能性を最大限に伸ばしていきたいと思います」と宣誓しました。続いて、大学院入学生を代表し、人文社会科学研究科の加藤翔さんが、「先人たちが積み上げてきた知見を大切に学び、今、目の前にある未知の課題に対して粘り強く挑み続けていきます」と宣誓しました。







入学生に贈呈した多機能ペン

EUAA 準正課教育支援事業

プロジェクトE、サイクリングプロジェクト等を支援しました。

「第25回愛媛大学学生による調査・研究プロジェクト（プロジェクトE）研究成果発表会」を開催

令和8年6月11日、愛媛大学では、自立・協働し未来を切り拓く人材の輩出に向けた取組の一環として、愛媛大学城北キャンパス・総合情報メディアセンター メディアホールにおいて、「第25回愛媛大学学生による調査・研究プロジェクト（プロジェクトE）研究成果発表会」を開催した。学生、教職員、一般の参加者ら約70名が来場した。

本プロジェクトは、学生が大学および愛媛大学校友会の支援を受け、自ら興味を持つテーマについて約10か月間にわたり調査・研究を行うものであり、今回、その集大成として研究成果発表会を実施した。

はじめに、令和7年度に採択された19件のテーマによる「プレゼンテーション発表」が行われ、学生たちは調査・研究の成果を熱心に発表した。続いて実施された「ポスターセッション発表」では、審査員や参加者との活発な意見交換が行われた。

「プレゼンテーション発表」と「ポスターセッション発表」を踏まえた審査の結果、農学部の渡部亜弥さんを代表とするプロジェクト『江戸から令和まで、酢酸菌の400年適応進化を実験室で再現できたか？』が最優秀賞を受賞し、理学部の北野侃さんを代表とするプロジェクト『地球深部に潜むULVZのDeepな謎に迫る～Fe-richマグマによるULVZのモデル化～』が優秀賞に選ばれた。

最後に、羽藤副学長より賞状および副賞が授与され、「プロジェクトEで培った主体性や探究心を、今後の学びや挑戦にぜひ生かしてください」との激励の言葉が学生に送られ、研究成果発表会を終了した。

校友会の支援のもと、学生たちが取り組んだ研究成果は、主体的な学びの大きな実りとなった。（教育・学生支援機構作成）



プレゼンテーションの様子



ポスターセッション発表



集合写真

「環四国サイクリングプロジェクト2026（愛媛・愛南町編）」を実施

令和8年8月7日から10日までの4日間、愛媛県南宇和郡愛南町で、「環四国サイクリングプロジェクト2026」を実施した。本プロジェクトは、愛媛大学と國立高雄科技大学（台湾）の学生が四国4県を自転車で巡り、歴史・文化の魅力発見を通して国際交流を深める準正課教育活動であり、愛媛大学校友会の支援を受け、今年で9年目を迎えた。

初日は、紫電改展示館までの長い坂道をチームで走り切り、猛暑の中励まし合いながら達成感を共有した。海底から引き揚げられた戦闘機を前に、日台の学生が歴史の学び方について意見を交わした。2日目は、愛媛県Velo-city推進統括監の河上芳一氏とともにサイクリングを行い、講演では、自転車による地域活性化や「Velo-city2027 Ehime」、未来を担う若者へのメッセージをいただいた。3日目は愛南町の鹿島に渡り、シーウォーカーによる海底散策やビーチクリーン活動に取り組み、海底のサンゴ、魚種の豊かさを間近で観察し、自然環境の変化や大切さを再認識した。最終日の成果発表では、日台の文化の異同、自身の強みや今後の挑戦を各自が語り、「自身の殻を破ることができた」との発言があるなど、プロジェクトの成果が共有された。校友会の支援のもと、学生たちが中心となってプロジェクトを遂行し、学びを深めた本プロジェクトは、国際感覚と挑戦する心を育む貴重な機会となった。（教育・学生支援機構作成）



愛南町をサイクリング



ビーチクリーンを終えての集合写真

EUAA 課外活動支援事業

サークル活動を応援しています。





令和8年7月16日(木)、愛媛大学校友会館2階サロンにて、愛媛大学学生団体活動援助金交付式を髙橋祐二校友会長、仁科弘重学長のご出席のもと実施しました。同交付式は、校友会学生支援事業の一環で、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が前年度における課外活動状況を評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費(総額500万円)を援助するものです。これにより、学生の課外活動の振興及び学生団体活動の活性化に資することを期待し、さらに校友会事業を広く理解していただくことを目的として支援を開始し、今年度で20回目となります。

【給付対象…評価C以上:給付団体　計50団体
(体育系33団体、文化系17団体)】

【今回A評価の団体】

- ●体育系6団体…漕艇部、ダンス部、合氣道部、水上競技部、チアリーディング部、アイスホッケー部
- ●文化系4団体…俳句研究会、アカペラオレんジ、書道部、交響楽団



交付式では、A評価団体の紹介後、仁科学長から、A評価団体に対する激励と校友会の支援に対する謝辞があり、続いて髙橋校友会長から、体育系全学サークル代表者と文化系全学サークル代表者のそれぞれに、活動援助金の目録が授与されました。

引き続き、髙橋校友会長から挨拶があり、「皆さんにとっても、サークルのメンバーは生涯を通じて付き合える仲間になると思いますので、ぜひ皆さんでサークル活動を盛り立てていってください」とのA評価を受けた団体へのねぎらいと、会長ご自身が所属していたサークル(自動車部)での活動を通じて得た仲間との絆や活動する上での心構えなどについてのお話がありました。これに対し、学生団体を代表して、俳句研究会の山田悠生さんが、「我々の活動は今後も続いていきます。活動のクオリティを下げることなく、新たな活動にも挑戦していきたいです」との力強い謝辞がありました。

記念撮影後、受賞したA評価団体各代表者と髙橋校友会長、仁科学長、八尋教育学生支援機構長らとの懇談会が行われました。はじめに、各団体代表者から活動報告があり、その後、意見交換が行われ、和やかな雰囲気の中で有意義な懇談の場となりました。

14・15ページでは、A評価を受けた団体の中から2団体を紹介しています。

EUAA 資格取得支援事業

医師国家試験、看護師国家試験及び保健師国家試験対策の模擬試験受験費用を援助しました。

医学部の学生さんにとって、医師・看護師・保健師の国家試験に合格し資格を得ることは、就職のための最低限の条件です。その合格率向上のために、国家試験予備校が実施している医師・看護師・保健師国家試験模擬試験の受験費用各1回分を校友会にて全額援助しました。

対象の医学部医学科生全員にあたる118名(国試不合格者含む)が、令和7年9月に実施した医師国家試験模擬試験を受験し、この模擬試験の成績を基に、合否ボーダーライン上の学生に対する個人指導を実施するなど、国家試験受験に対する認識や意欲の向上が図られました。

看護学科4年次学生のうち20名が令和7年12月実施の保健師国家試験模擬試験、58名が令和8年1月実施の看護師国家試験模擬試験を受験し、到達度や弱点の最終確認を行いました。また、本番の国家試験に対する良いリハーサルとなりました。

EUAA 学生募集活動支援事業

オリジナルノートを配布しました。



令和8年8月6日(木)と7日(金)の2日間、オープンキャンパスが開催されました。

各学部での模擬授業や現役大学生との交流の機会が設けられるなど様々なプログラムが開催され、猛暑の中、県内外から参加された多くの高校生・保護者の方々でキャンパス内は大いに賑わいました。

参加した高校生には、愛媛大学のマスコットキャラクター"えみか"と、愛媛県イメージアップキャラクターの"みきゃん"がコラボしたオリジナルデザインのキャンパスノートが配られました。校友会は、大学の学生募集活動を支援するため、このキャンパスノートの作製費を全額援助しました。

広島県・兵庫県から訪れたという男子高校生たちは、それぞれが教育学部・理学部・工学部を志望しているそうで、この日出会ったとは思えない仲の良さで取材に応じてくれました。「(みきゃんを)駅で見た!」「かわいいっす!使います!」などとノートの印象を笑顔で語ってくれました。

EUAA 就職支援事業

就活学生を応援しています。



令和8年4月25日(土)、26日(日)に大学会館にて「愛大ジョブフェス2026～未来のキャリアを探しに行こう!～(業界研究会)」を対面形式で開催しました。本イベントは、学生が業界や企業への理解を深めるとともに、自身の将来について長期的な視点から考えるきっかけを提供することを目的として開催したものです。

両日とも2コース制で実施し、県内外145社の企業・団体にご出展いただきました。参加学生は延べ916人にのぼり、各企業ブースでは学生が熱心にメモを取りながら説明に耳を傾けたり、積極的に質問したりする姿が多く見られました。また、普段は知る機会の少ない企業や業界との出会いを通じて、新たな興味や関心を発見する機会にもなりました。

開催後に実施した学生アンケートでは、9割以上の学生が「大変満足」または「満足」と回答しました。参加者からは、「幅広い業界・企業について知ることができた」「今まで視野に入っていなかった企業に興味を持つきっかけになった」「企業の方から直接話を聞くことで、働くイメージを具体的に持つことができた」といった声が寄せられました。また、「夏季インターンシップに向けた情報収集ができた」「就職活動に向けた第一歩として参加しやすかった」といった意見も多く見られました。

企業・団体の皆様からも高い評価をいただき、「学生の参加意欲が高く、真剣に話を聞いてくれた」「文系・理系を問わず幅広い学生と交流することができた」「夏季インターンシップ前の時期として非常に効果的だった」などの声が寄せられました。また、多くの企業から「学生と直接対話できる貴重な機会となった」「今後も継続して参加したい」といった意見が寄せられるなど、本イベントの有用性がうかがえました。

愛大ジョブフェス2026は、学生が企業との対話を通じて将来のキャリアについて考え、自身の視野を広げる貴重な機会となりました。今後も本学では、学生のキャリア形成や進路選択を支援するため、さまざまなキャリア支援企画を実施していきます。(就職支援課作成)

※校友会では、このイベントで配布された就活応援ipaチケットと開催経費の一部を支援しました。

EUAA 海外派遣支援事業

交流協定校への留学や海外派遣短期プログラムに参加する学生に奨学金を支給しています。
また、海外留学安全対策協議会（JCSOS）のJ-Basic加入料を負担しています。
この支援を受けた学生の体験記を掲載します。

バベジュ・ボヤイ大学留学体験記　法文学部人文社会学科４年 佐藤 晴彦

■留学国名　ルーマニア　■留学期間　5ヶ月
■実施年　2025/02/22~2025/07/28

■留学をしようと思った理由

私が留学を決意したのは2回生の夏頃です。大学に入学してから、日々の講義に加え、部活やアルバイトなど充実した日々を送っていました。しかしそれと同時に、どこか物足りなさや将来に対する漠然とした不安も抱えていました。そんなとき高校生の頃からなんとなく憧れを持っていた「留学」という選択肢が頭に浮かびました。当時、高校の教員になることを志望していた私は、異なる価値観や文化に触れ、多様な経験を積むことは自分の教師としての幅を広げることに繋がるのではないかと考え、留学を決めました。

■その大学を選んだ理由

留学先選びにあたっては、まず金銭的制約のために交換留学を大前提とし、北米や北欧などの物価の高い国以外の地域を模索しました。その上で私が重要視した条件は、多様な留学生が集まるグローバルな大学であること、日本人が比較的少ないチャレンジングな環境であること、の2点です。

そんな折、国際連携課が開催している「留学相談室」でご紹介いただいた候補のひとつがルーマニアのクルージュ＝ナポカにあるバベジュ・ボヤイ大学でした。決め手となったのは、大学のあるクルージュ＝ナポカという場所自体が複数の言語や文化の飛び交う学術都市であること。そしてルーマニアにありながらハンガリーの歴史や文化と深い関わりをもつというユニークな地域性を持っていたことです。

■留学先で学んだこと

授業の中で印象に残っているのは留学生向けのルーマニア語の授業です。週2回、とにかく「話すこと」に重点を置かれたハードな授業でした。特に日本語を母語とする私は、他のヨーロッパからの留学生のクラスメイトよりもルーマニア語に馴染みが薄く、とても苦労しました。「日本人が英語を話せない理由として間違えることを恐れすぎているからだ」とよく言われます。しかし授業の中でクラスメイトは間違えることなど全く恐れておらず、それどころか一単語でも多くルーマニア語を話そうという貪欲な姿勢を常に見せていました。彼らの能動的な学習姿勢から多くの刺激を受け、自分の言語学習に対する意識を大きく変えるきっかけになりました。

■留学先で楽しかったこと

週末のスポーツ大会、講義終わりのバブ、国内外旅行など楽しかったことを挙げればきりがありません。その中でも特に印象に残っていることは現地の日本文化センターのスタッフとして参加した、クルージュ最大のイベントです。3日間のイベントの中で、子供からお年寄りまで多くの日本ファンと触れ合いました。彼らとの交流を通して、日本人としての誇りを再認識するとともに、こうした現場での草の根活動の重要性を実感する機会となりました。

■辛かったこと

辛かったことは「特にない」というのが本音です。滞在許可書の取得に時間がかかったり、寮の洗濯機が突然使えなくなったり、ふとした瞬間に孤独感に襲われたりなど、所々で困難に直面することはありました。しかしその度に、たくさんの人が助けてくれ、辛さを感じる前にその状態を抜け出すことができました。（文化センター長ご夫妻、愛媛大学からの交換留学の先輩、ルームメイト、クラスメイトなどなど。異国の地で私を受け入れてくれた彼らがいなければ辛かったことだらけになっていたと思います。笑）



ルーマニア語の授業で発表する様子



日本文化センターのイベントの様子

■まとめ

私は今、留学にいって大正解だったと胸を張って言えます。しかし誰もが大満足で帰国できるわけではないというのもまた事実です。私は運よく周りの人に恵まれたおかげで充実したものにできました。この記事を読んでいる留学に行くかどうか迷っている皆さんへ。『迷っているならぜひ行ってください。』金銭面、言語面、人間関係、現地での生活への適応など、不安は尽きないと思います。しかし何とかなります。助けてくれる素敵な人があなたの周りにも必ず現れます。私がその証明です。幸いにも愛媛大学には奨学金制度を含めて、留学に挑戦する学生を応援してくれる多くの制度があります。留学にいって人生が大きく変わるとは言えませんが、変わるきっかけはそこに眠っているのではないでしょうか。応援しています。

EUAA ホームカミングデイ

令和7年11月8日(土)15:00~
愛媛大学南加記念ホールにて

- **オープニングイベント 愛媛大学邦楽部**
- **学長挨拶・講演**
- **特別講演 ①工学部長 森脇亮教授 ②教育学部附属才能教育センター長 隅田学教授**
- **合唱コンサート・学歌斉唱 愛媛大学合唱団**

令和7年11月8日（土）、城北キャンパスにおいて「第16回愛媛大学ホームカミングデイ」を愛媛大学と共催しました。今回は卒業生、退職教職員及び現職教職員ら145人にご参加いただきました。

式典では、オープニングイベントとして、愛媛大学邦楽部による演奏が行われました。

その後、仁科弘重学長が、開会の挨拶に続いて、「国立大学の現状と将来像」と題して、国立大学を取り巻く財政状況や愛媛大学の現状、今後の取組等について講演を行いました。

工学部の森脇亮学部長による特別講演では、「工学部工学科海事産業特別コースの新設について」と題して、広く総合的に「モノづくり」に関する工学を学び、海事産業全体を俯瞰できる人材を養成する教育コースとして、令和８年度に始動する新コースについて紹介がありました。続く教育学部附属才能教育センターの隅田学センター長による特別講演では、「教育学部附属才能教育センターの新設について」と題して、昨年４月に、日本で初めて設置された同センターの取組等について紹介がありました。

式典後に大学会館１階パルトで実施した懇親会では、愛媛大学で生産された米やトマト、みかんを使用した料理を提供しました。髙橋祐二校友会会長からの挨拶の後、愛大オリジナル商品などが当たるくじびき大会を行い、大いに盛り上がりました。県内外から多くの卒業生や関係者の皆様にご参加いただき、あらためて親睦を深めることができました。







第17回ホームカミングデイ令和8年11月14日（土）開催 開催の様子は次号でお知らせします。

EUAA 令和7年度事業報告

学生支援事業

- 準正課教育への支援
- 学生サークル団体へ活動資金援助
- 学生募集活動への支援
- 就活生への支援
- 海外留学する学生、留学生へ奨学金支給
- 学生用図書の寄贈
- 医学部国家試験模試費用支援
- 入学生・卒業生へ記念品贈呈 等

会員交流事業

- 校友会報No.11の発行
- ホームカミングデイを大学と共催
- 国内支部役員会、総会、講演会、懇親会を開催
- インドネシア支部交流会の実施 等

社会連携事業

- 子規俳句カレンダー2026作製
- 講演会を退職教員の会と共催 等

EUAA 国内支部

中国支部

令和7年10月25日（土）14時から、岡山市北区のアークホテル岡山2階フローラルにおいて、中国支部第3回定時総会・合同懇親会を開催しました。

総会では、令和5年度から6年度の事業報告及び収支決算案、令和7年度の事業計画及び予算案、支部役員の選任について、審議・了承されました。

引き続き、15時から同会場にて、校友会と工学部同窓会岡山支部との合同懇親会が開催されました。

今回は、中国支部設立以来、初の岡山開催となり、岡山県内はもとより広島県などから69名の方にご参加いただき、学部の垣根を越えて交流されました。また当日のサプライズで、今日の日に合わせ岡山在住の工学部同窓会の方から参加者全員に自作の備前焼のプレゼントがあり、皆さま、真剣に選ばれていました。お楽しみ抽選会では、愛媛大学や校友会のオリジナルグッズに愛媛の懐かしい味がセットされた景品が振る舞われるなど大いに盛り上がりました。最後は、愛媛大学学歌を1番から3番まで大合唱し、幕を閉じました。







近畿支部

令和7年11月29日（土）14時から、大阪市中央区の大阪倶楽部4階ホールにおいて、講演会・合同懇親会を開催しました。

校友会近畿支部主催の講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前回開催した平成31年6月以来6年ぶりの開催となり、主に近畿圏に在住する会員80人が出席しました。

講演会に先立ち、楠和俊支部長（農学部卒）の開会挨拶があり、引き続き鍔本武久愛媛大学理工学研究科教授による「恐竜研究入門～発掘から展示まで～」と題して行われました。講演では、鍔本先生から、「恐竜とは、陸上にすむ、直立したは虫類のことで、現在の鳥類は、恐竜の一部のグループから進化したもの。したがって鶏の唐揚げは恐竜の唐揚げで、焼き鳥は焼き恐竜、玉子焼きは恐竜の玉子焼きなのです」といったユニークな内容が満載で、参加者は熱心に聞き入っていました。

記念撮影終了後、同会場にて、校友会と理学部、医学部、工学部、農学部同窓会関西（近畿）各支部との合同懇親会が開催されました。懇親会は、髙橋校友会会長のご挨拶に続き塚原康生校友会近畿支部副支部長（医学部卒）の乾杯発声で開宴しました。今回の懇親会では、新社会人交流事業として令和5年3月以降に卒業された方は無料で懇親会に参加できる企画を実施した結果、2人の新社会人にも参加いただきました。

会場内は久し振りの再会で昔話に花が咲き、また、芝川明義幹事（農学部卒）の名司会・進行によるお楽しみ抽選会でさらに盛り上がりました。出身学部や年代を越えて楽しい時間はあっという間に過ぎていき、田嶋邦彦校友会近畿支部副支部長（理学部卒）の締めのご挨拶で終宴となりました。







首都圏支部

令和8年6月27日（土）14時から、東京都千代田区の大手町サンケイプラザ4階大ホールにおいて、講演会・懇親会を開催しました。

講演会は、清水栄治支部長の開会挨拶後、ねりま健育会病院院長でライフサポートねりま管理者の酒向正春先生（愛媛大学医学部1987年卒）による「ミスターから学んだ健康寿命延伸の道筋 筋肉革命95」と題して行われ、95名が参加しました。講演の中で、酒向先生から、「認知症など病気を予防するためには筋肉を増やすことや毎日5～7千歩歩くことが大事、また、握力低下は病気やケガのリスクが高くなる。これらを予防する方法として筋肉革命95を実践してほしい」といったお話がありました。

引き続き、同会場にて、校友会首都圏支部と法文学部、理学部、工学部各同窓会東京支部との合同懇親会が開催され、94名が参加しました。

懇親会は、羽藤堅治愛媛大学副学長の開会挨拶によりスタートし、毎年好評の愛媛県ゆかりの物産や景品が当たるお楽しみ抽選会や参加者全員による学歌斉唱などで大いに盛り上がりました。今回から、懇親を深める一助として、「学科」「卒業年」と開示（公表）に同意した方の「大学時代の所属サークル名」を名札に記載しました。

当日は、ダブル台風が関東に接近するという状況の中での開催だった為、キャンセルも若干発生しましたが、松山からの飛行機も予定どおり運航され、盛会裏に終了することができました。







EUAA 海外支部

インドネシア支部

令和7年10月14日（火）、ジャカルタ中心部スナヤン地区のレストランにおいて、愛媛大学校友会インドネシア支部の交流会を開催しました。

今回の交流会は2年ぶりの開催となり、インドネシア支部からアディ ジョコグリトノ（Adi Djoko Guritno）副支部長、シギト ウィドド（Sigit Widodo）事務局長ら10人が、愛媛大学から仁科弘重学長、仁科学長夫人、小林修学長特別補佐（国際連携担当）・国際連携推進機構副機構長、国際連携推進機構の島上宗子教授、西本さなえ学長室副室長、岩田剛国際連携課TLの6人が参加しました。交流会の冒頭、仁科学長は、「こうしてインドネシアで、愛媛大学を卒業・修了された皆さまと再会できることを、大変嬉しく思います。皆さまがそれぞれの分野でご活躍されていることは、母校としても大きな誇りであり、今後のさらなるご活躍を心より願っております」と挨拶しました。

参加者一同は今回の交流会で久しぶりに再会し、近況報告や学生・大学院生時代の思い出話に浸りました。また、卒業生・修了生たちは、今回の交流会に、愛媛大学から仁科学長と学長夫人が参加したことを、大変嬉しく思うと話していました。卒業生・修了生はだれもが愛媛大学での留学生活は青春時代の思い出となっており、自らを大きく成長させてくれた貴重な経験だったと振り返っていました。インドネシア支部は今後も愛媛大学とのつながりを強化していく予定です。





合氣道部

（2026年8月現在）

顧問　岡本　　隆（社会共創学部 教授）
代表　瀬口莉々葉（法文学部）







01 現在の部員数

男子 12人　女子 14人

02 活動場所

■第二体育館1階 武道場
（9月以降は第一体育館1階 武道場）
■東雲女子大、愛媛県武道館

03 活動時間

学内 毎週 月・木：18時～21時
土：　9時～12時
学外　水・金・日：19時～21時

04 最近の活動内容・実績

最近の活動
2026年7月 四国インカレ
8月 松山大学合同稽古
今後の予定（8月時点）
2026年9月 夏季集中稽古
10月 中・四国学生合気道演武大会
11月 全国学生合気道演武大会

05 ホームページ・SNSアカウント

HP
https://sites.google.com/view/aidaiaikido/

X（Twitter）　@EU_Aikido
Instagram　aidai_aikido

06 アピールポイント

愛媛大学合氣道部は週三日、第二体育館1階にて活動を行っています。日々の部活では、部員一同仲良く互いに教え合いながら研鑽を積んでいます。合氣道というと、あまりなじみのない部活動かもしれませんが、実際は女性でも身に付けやすく護身術として広く知られている武道です。部活として存在しているのは大学からが多く、必然的に部員も大学から合氣道を始めた部員が過半数です。それでも諸先生方や先輩方からご指導をいただき、それぞれが次のステップへと進むべく合氣道を学んでいます。

部の雰囲気は、部員一同が合氣道というものに対して真摯に向き合っており、教え合うという姿勢が強く表れています。部員同士の横のつながりはもちろん強く、同じ回生同士で旅行へ行ったり、一人の家に集まって遊んだりと、同回生だからこそ大学での悩みや学業においての相談などをしています。縦の関係も深く、回生や年齢関係なく旅行へ出かけるほど仲が良いです。

今後の目標としては、部員の拡大、そして各個人の合氣道に対する鍛錬を積むことです。合氣道には試合が無いため、対外的に見た結果という物が見えにくいですが、部員一人ひとりの合氣道に対する真摯な姿勢は歳月を経るごとに変化していきます。各個人がそれぞれの目標に向かって部活動に励んでまいります。



アカペラオレんジ

（2026年8月現在）

顧問　徐　　祝旗（社会共創学部 教授）
代表　萬家　亜美（法文学部）







01 現在の部員数

男子 24人　女子 40人

02 活動場所

第1共用施設 部室、第3共用施設 防音室2、
共通講義棟A

03 活動時間

毎週 水曜 19時～20時（部会）、
チームごとの練習は不定期
（時間は9時～21時の間）

04 最近の活動内容・実績

最近の活動
3月14日 サルヴァトーレ松山10周年記念 スペシャルディナーイベント
3月20日 50Fes 2026 ～100大学合同サークルライブ～（東京）
4月　4日 CAFe#20（岡山）
4月18日 岡崎城でらでらアカペラ祭り 新人賞受賞（愛知）
4月22日 新入生歓迎ライブ
5月16日 医学祭
6月　6日 A cappella Sonic 極 -2026-2次実地審査出場（大阪）
7月　5日 サマーライブ
8月　2日 Monkライブ
8月20日 第2回Acappella Grand Slam
ジャパンリーグ中四国二次予選出場（広島）
今後の予定
8月22日 愛媛大学教育学部同窓会 演奏
9月12日 第15回A cappella Spirits 中国・四国ブロック最終予選（広島）
9月26日 A cappella Sonic 極 -2026-決勝実地審査（兵庫）
11月　3日 Strawberry Lake Productions主催コンサート
「手をとりあって-Hand in Hand-」バックコーラスでの出演
11月14・15日 愛媛大学学生祭
12月19日 Winter Circle Live 2026（北条市民会館）

05 ホームページ・SNSアカウント

X（Twitter）　@pella_nge
Instagram　acappellaorange

06 アピールポイント

私たち「アカペラオレんジ（通称：ペラんジ）」は、60名を超える部員が所属する、愛媛大学内でも規模の大きい文化系サークルです。

アカペラは楽器を一切使わず、人の声だけで音楽を演奏します。歌をメインで歌うリードボーカル、厚みのあるハーモニーを奏でるコーラス、低音で曲を支えるベース、リズムを刻むボイスパーカッション。それぞれ異なる役割の声が重なり、綺麗なハーモニーを作り上げた瞬間は、何にも代えがたい感動があります。

日々の活動では、1回生から4回生までがチームを組んでサークルライブに向け練習に励んでいます。同回生で固まることなく回生混合のチームも多くあり、学年を超えてみんなで交流できる仲の良さが魅力です。音楽経験者だけでなく大学から始めた部員も多く在籍し、先輩方が優しく教えてくれるあたたかい雰囲気があります。また、最近は外部の大会に挑戦するチームも増えており、互いに刺激を受け合いながら意欲的に活動しています。挑戦しやすく人の温かさがあるこの環境で、仲間とともに楽しみながら成長できることが私たちの強みです。

今後は、より一層アカペラを通してたくさんの人に笑顔と感動を届けていきたいです。私たちの歌声で松山の街を彩ることができるよう、部員一同、さらなる高みを目指して日々練習に励んでいきます。



EUAA 学部同窓会からのお知らせ

法文学部同窓会だより



会 員 数：25,027名（2026年3月現在）
支　　部：東京章光会（関東）、にきたつ会（関西）、中国支部、四国支部
主な活動：総会・理事会、会報発行（年1回）、会員名簿発行・管理、同窓会提供講座、学部学生支援、
　　俳句募集、学生アンバサダー制度　など
沿　　革：1959　文理学部同窓会創立
　　1979　法文学部同窓会に改組

法文学部の正式名称は「愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会」で、文理学部時代を合わせて2024年に創立65周年を迎えました。

毎年9月初旬に発行されている同窓会報が届いていないという方は、お送りできるように手配しますので、事務局にご連絡ください。

法文学部同窓会事務局
〒790-8577 松山市文京町３番 法文学部内
TEL：090-1002-6376
HP：https://ehime-u-houbun-dousoukai.jp
E-mail：support@ehime-u-houbun-dousoukai.jp

教育学部同窓会だより

1950年当時、愛媛大学の前身校である男子師範学校・女子師範学校・青年師範学校にはそれぞれに同窓会があり、独自に活動している状況でした。そうした中、愛媛大学発足に伴い、各同窓会代表が協議を行い「金亀会」を結成しました。その後新制愛媛大学教育学部の卒業生も含めて1959年に名称を愛媛大学教育学部同窓会に変更し、70年余りの歴史を刻んでいます。

教育学部同窓会は教育学部に関する情報や県内外の支部や会員から送られてくる情報等を紹介した同窓会報の発行及び2年に一度松山の地で会員の皆様が親睦を深め合う懇親会の開催を主な事業として活動しています。会員数は現在約8,000人余りですが年々入会者が減る傾向にあり、同窓会のあり方及び組織・事業等々変革の時期を迎えています。

そうした課題を抱える中、令和８年は県内に教員養成機関が設立されて150周年にあたるため同窓会事業の一つである教育学部同窓会懇親会を「創基150周年記念」と銘打ち第20回の懇親会を実施いたしました。また、令和９年２月に発行予定の会報143号を「150周年記念号」として特集を組み発刊する予定で準備を進めております。先輩諸氏たちが繋いできた教育への情熱をしっかりと受け継ぎ、後輩に繋いでいけるよう会員相互の連携を図りながらよりよい同窓会事業・活動になるよう努めますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

愛媛大学教育学部 同窓会

【教育学部同窓会事務局】
〒790-8577
松山市文京町3番　愛媛大学教育学部事務課内
TEL：089-927-9383（月～金の午前中）
E-mail：dosokai.ed.ehime@gmail.com

社会共創学部同窓会だより



「愛媛大学社会共創学部同窓会」は、第1期生の卒業に合わせて設立され、今年度で8年目を迎えます。まだまだ手探りで運営している部分が多いですが、少しずつ同窓会組織として機能してきたように思います。昨年度は社会共創学部創立10周年記念行事が開催され、同窓会メンバーも参加させていただきました。

2022年度から始めたキャリアセミナーも今年で５回目の開催となりました。卒業生が直接在学生へ自らが働く業界について語る機会となりますが、参加者アンケートでも毎回非常に高い評価をいただいており、同窓会としても、意義のある取り組みの一つになっていると感じております。今年度は新たな試みとして、公式LINEを通じて卒業生講師を募ったところ、５名の卒業生にご協力いただき、講師として在学生の前で貴重な経験談を語っていただきました。

また、同窓会の公式LINEを活用した情報発信も定着してきており、総会やイベントの案内のみならず、前述の講師募集にも活用するなど、卒業生の皆様と双方向のつながりを築くことができております。広報誌についても年１回の発行を継続しており、令和7年度には第５号を発行いたしました。

しかし、まだまだ関わりを持てていない卒業生が多いことも事実としてあります。今後は運営体制の強化にも取り組みながら、今一度同窓会がもたらす価値を再定義し、卒業生や在学生のためになるように活動をしてまいりますので、今後とも社会共創学部同窓会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会共創学部同窓会事務局
〒790-8577 松山市文京町３番
TEL：089-927-8927
HP：https://www.cri-ehime-u-graduate.jp/
E-mail：support@cri-ehime-u-graduate.jp

理学同窓会だより

理学同窓会は愛媛大学文理学部理学科および理学部の卒業生、大学院理学研究科および理工学研究科（理学系）の修了生を正会員とし、現在会員はおよそ9,500名です。

理学同窓会の主な活動として、総会の開催、会報の発行、東京支部及び関西支部総会の開催を行っています。在学生への支援として、教員採用予定者へ奨励金支給、留学希望学生へ奨学金支給、また、新入生へ記念品配付、理学部奨励賞対象者へ副賞贈呈、卒業生へは記念品配付と共に同窓会へ住所登録を依頼しています。

ほかに、学科や講座等の常置同窓会、同期会、研究室同窓会等開催支援、理学部との共同事業、愛媛大学公認事業等へ資金的な補助も行っています。研究室の会合や同期会等開催予定があればお知らせください。

2026年９月５日に理学同窓会総会を開催しました。隔年発行の会報については2027年２月に第15号を発行する予定です。最近会報がお手元に届いていない方は住所が登録されていないか不明になっている可能性があります。ぜひ、新しい連絡先を理学同窓会へお知らせください。

また、会員の皆さんからの投稿を歓迎しています。小規模な同窓会の開催やユニークな活動をしている会員の情報、さらに本同窓会員が職業や社会活動などにより受賞をしたというようなニュースなどもご存知の方は事務局へお知らせください。

愛媛大学理学同窓会事務局
〒790-8577 松山市文京町2-5 理学部内
TEL/FAX：089-927-8424
HP：https://www.sciehime-u.jp/rigakudousou
E-mail：rigakudousoukai@sciehime-u.jp

工学部同窓会（工業会）だより

工業会（愛媛大学工学部同窓会）は、新居浜高専時代に設立された工業会の前身となる「国領会」の設立から79年を迎えます。今年度も「会員相互の親睦と人格の向上を図る」という工業会の活動精神の根幹に沿った「事業運営」「支部活動」「大学への支援」を積極的に進めて参ります。

工学部の卒業生は自動的に工業会の正会員となります。入学時に頂いた終身会費により卒業生の名簿の管理、会誌の発行などを行っており、会員数は２万８千人を超え、東京、東海、近畿、岡山、広島、高松、高知、愛媛の８つの支部で懇親会を兼ねた支部総会や講演会と、各支部で独自の交流活動などを開催しています。

近年は、地域によっては全学の同窓会である校友会との合同親睦会なども開催されるようになりました。工業会からは参加者への補助もしておりますので、会員のみなさん、どうぞ工業会の事業にご参加ください。

最後に、事務局からのお願いです。転勤などで連絡先が変更になりました際には、事務局までご連絡をお願いします。

工業会公式サイト
二次元コード

愛媛大学工業会事務局
〒790-8577
松山市文京町3番（愛媛大学工学部内）
TEL：089-927-9702
HP：https://www.eu-kogyokai.jp/
E-mail：kogyokai@eu-kogyokai.jp

農学部同窓会（ユーカリ会）だより

ユーカリ会（愛媛大学農学部同窓会）は、愛媛大学農学部附属高等学校、農学部および大学院農学研究科（旧農学専攻科を含む）の卒業生・修了生、教職員等を会員として構成されており、会員相互の親睦と連携を図り、農学部の発展に寄与することを目的としています。

本会では、総会や各支部会の開催、会報『ユーカリ』の発行をはじめ、在学生への各種支援活動（奨学金補助や学生支援事業など）を積極的に行っております。近年では、地域振興や農学の発展に貢献する若手人材の育成にも力を入れており、母校と卒業生をつなぐ架け橋としての役割を果たしています。

直近では2026年６月20日にユーカリ会総会を開催いたしました。2030年には開学130周年の式典を予定しております。

会報やご案内が届いていない方は、住所変更等により連絡先が不明になっている可能性があります。お心当たりのある方は、ぜひ新しいご連絡先を事務局までお知らせください。

ユーカリ会では、HPやLINEを利用して、ユーカリ会報のほか行事案内、支援いただいた企業紹介、採用情報、インターンシップなど種々の情報発信にも取り組んでおります。

会員の皆様からの近況報告や各地での同期会・クラス会の開催情報なども随時募集しており、掲載も可能ですので、お気軽に事務局まで情報をお寄せください。

農学部同窓会ユーカリ会事務局
〒790-8566
松山市樽味３丁目５-７ 愛媛大学農学部内
TEL：089-948-1806
HP：https://www.ehime-u-yuukari.com/
E-mail：yuukari@agr.ehime-u.ac.jp

EUAA 講演会開催事業

愛媛大学退職教員の会と共催の講演会を開催しました。

令和7年度第1回の講演会を、9月27日（土）13時から、愛媛大学校友会館2階のサロンで開催し、35人の皆様に参加いただきました。

最初に愛媛大学法文学部教授、四国遍路・世界の巡礼研究センター長の胡 光講師から「四国八十八ヵ所霊場の成立」と題して、現在「日本遺産」に登録されている四国遍路が世界遺産として登録されるよう活動、研究を進めていること、また1,200年以上前に空海が修行僧として始めた修行が、江戸時代に「四国遍路巡礼」へと変わり、現在は札所だけでなく伝統的な景観・自然が残る遍路道や霊地も資産となる四国の文化であることを話してくださいました。

続いて、愛媛大学法文学部准教授の田島篤史講師から、「西欧キリスト教世界における巡礼と奉納文化」と題して、ドイツのボーゲンベルクの巡礼についてお話がありました。ボーゲンベルクはバイエルン最古の巡礼地でその起源は12世紀まで遡ります。当初は聖母マリアの像が祀られただけのものでしたが様々な奇跡が起こったと伝えられ巡礼地として名声が高まり、その後何世紀にもわたって多くの巡礼者を受け入れていると話してくださいました。

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センターは、2015年、四国遍路を学術面から世界遺産化活動を支援するために設立され、研究拠点となっています。世界遺産に登録されるのも近い将来かもしれません。

四国遍路が身近すぎてまだ訪れてない方は、世界遺産に登録される前に巡ってみてはいかがでしょうか。





令和7年度第2回の講演会を、12月6日（土）13時から、愛媛大学校友会館2階のサロンで開催し、41人の皆様に参加いただきました。

最初に退職教員の会理事である西村勝志氏の挨拶、講師紹介の後、医療法人きらりデイサービスセンターかおり及び重度認知症デイケアかおりの家施設長 盛次有希氏から「介護保険制度のしくみと現場から見える光と影～申請からサービス利用までの流れとデイサービスセンターかおりでの実例から学ぶ制度の活かし方～」と題して、介護保険制度の成り立ち経緯から基礎知識、介護保険制度を受けるまでの流れとその際の注意点、介護保険を使い始めるタイミングなど、具体的な内容を交えてお話しいただきました。現場に従事されておられる講師ならではの話に参加者は熱心にメモを取っていました。

休憩の後には、シキプロジェクト 田村七重氏から「愛媛大学校友会子規俳句カレンダー2026の紹介」があり、俳句を詠んだ当時の正岡子規の状況や思い、今回の写真の選定理由の紹介がありました。参加者らは、配られた「校友会子規俳句カレンダー2026」を見ながら俳句と写真のコラボレーションの説明に納得した表情で耳を傾けていました。





EUAA 子規俳句カレンダー

愛媛大学長が選句した正岡子規の俳句と、大学職員が撮影した愛媛県内の四季折々の写真を掲載した卓上カレンダーを毎年作製しています。カレンダーとしてお楽しみいただいた後は、ポストカードとして活用できます。

俳句の英訳も記載しておりますので、このカレンダーを通して国内外の皆様と愛媛大学校友会や子規との出会いの機会になれば幸いです。

子規俳句カレンダー2027

1月 猫の居る縁の日南や福寿草



福寿草（松山市）

2月 賽銭のひゞきに落る椿かな



落椿（松山市）

3月 春雨や旅の衣のぬれぬほど



久喜の花桃

4月 若草や子供集まりて毬を打つ



若草（笹倉湿原）

5月 竹の子のきほいや日々に二三寸



竹林（愛媛大学農学部樽味キャンパス）

6月 鼓鳴る能楽堂の若葉かな



東雲神社

7月 飛んで来てとまるやすぐに蟬の声



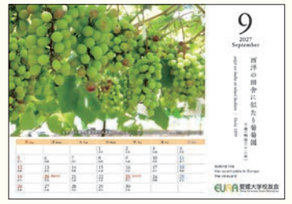
アブラゼミ（松山市）

8月 星月夜星を見に行く岡の茶屋



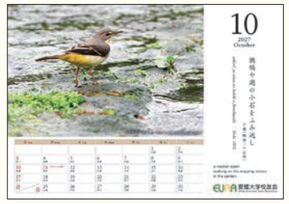
星空（五段高原）

9月 西洋の田舎に似たり葡萄園



葡萄園（愛媛大学農学部附属農場）

10月 鶺鴒や庭の小石をふみ返し



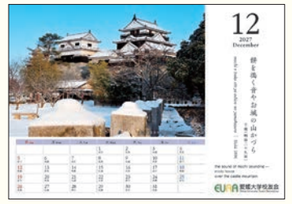
キセキレイ（松前町）

11月 床の間の達磨にらむや秋の暮



だるま夕日（松前町塩屋海岸）

12月 餅を搗く音やお城の山かづら



松山城雪景色

WEB 登録者限定 プレゼント

子規俳句カレンダー2027を、校友会WEB登録者限定でプレゼントいたします。詳細につきましては、12月初めにホームページとメールマガジンでご案内予定です。

先着100名を予定しておりますので、お早めにご応募ください。

※WEB登録については23ページをご覧ください。



令和8年度校友会理事会・懇親会開催

令和8年度の校友会理事会を7月25日（土）の16時30分から、ANAクラウンプラザホテル松山本館4階のルビールームにて開催しました。

理事会は、理事総数66人のうち58人が出席（うち委任状22人）し、昨年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画案と予算案、そして校友会役員の改選案について審議され、全議題が原案どおり承認されました。

なお、役員改選が審議された際、冒頭で髙橋祐二校友会長から、校友会の会長職を退任したいとのお申し出があり、これを受けて、会長の後任について審議（互選）の結果、現常任理事の米田剛様（三浦工業株式会社代表取締役社長）に次期会長をお願いすることが決定しました。

また、伊藤眞道副会長と柿木一高副会長のお二人からも、髙橋会長と共に退任したいとの申し出があり、後任には常任理事の片山泰志様（四国ガス株式会社代表取締役会長）と羽藤堅治愛媛大学副学長に次期副会長をお願いすることが決定しました。会長を退任された髙橋様は、校友会相談役にご就任いただくことになりました。

理事会

議　題

1. 令和7年度の事業報告（案）及び収支決算（案）について
2. 令和8年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 校友会役員の改選（案）について
4. その他

報告事項

1. 愛媛大学ホームカミングデイの開催について
2. その他

理事会終了後、同ホテルガーネットルームにて懇親会を開催しました。米田新校友会長と仁科弘重愛媛大学長からの挨拶に続き、仁科学長から髙橋前会長へ感謝状と記念品の贈呈セレモニーがありました。髙橋前会長は、平成19年から10年間は校友会副会長として、引き続き平成28年から10年間は校友会長として本会の充実・発展に多大なご尽力をいただきました。校友会イベントにも積極的にご参加くださり、在学生への温かい激励の言葉や、ご自身の学生時代の経験談などをお話しいただきました。

引き続き、髙橋前会長からご挨拶（謝辞）があり、「校友会は米田新校友会長の下で、愛媛大学を支える真の応援団として頑張ってほしい」とのエールがありました。

片山新副会長による乾杯のご発声で開宴しました。会場内は、大学の教職員をはじめ多くの各学部の同窓会、後援会関係者にもご参加いただき、交流の輪が広がりました。懇親会終盤では恒例となった参加者全員での愛媛大学学歌の大合唱があり、羽藤新副会長の締めでお開きとなりました。









校友会役員紹介　令和8年度～（次回総会まで）

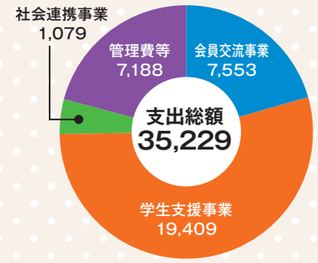
（敬称略：役職毎に五十音順）

役職	氏名	現職
会長	米田　剛	農学部同窓会（ユーカリ会）、三浦工業株式会社 代表取締役社長
副会長（常任理事）	片山　泰志	法文学部同窓会、四国ガス株式会社 代表取締役会長
副会長（常任理事）	羽藤　堅治	農学部同窓会（ユーカリ会）、副学長、農学部教授、【総務企画担当】
常任理事	井上　洋一	教育学部同窓会会長
常任理事	垣原登志子	農学部同窓会（ユーカリ会）会長
常任理事	黒河　安徳	法文学部同窓会会長、【総務企画担当】
常任理事	合田 みゆき	教育学部同窓会、フリーアナウンサー
常任理事	上甲　克和	退職職員会会長
常任理事	鈴木　裕子	総務部総務課長、【総務企画担当】
常任理事	瀬野　英二	元愛媛県産業技術研究所長、教育・学生支援機構特定教授【総務企画担当】
常任理事	竹中　克斗	医学部長、教授
常任理事	谷　善文	工学部同窓会（工業会）会長
常任理事	谷口　丈太	社会共創学部同窓会長
常任理事	谷水　恭子	法文学部同窓会、三浦工業株式会社執行役員
常任理事	千葉　昇	理学同窓会会長
常任理事	豊田　洋介	理学同窓会、イオン株式会社戦略部長
常任理事	中根　隆行	法文学部長、教授
常任理事	鍋加　浩明	医学部同窓会会長、松山大学教授
常任理事	VERGIN-RUTH	元国際連携推進機構教授
常任理事	治多　伸介	農学部長、教授
常任理事	日野　克博	教育学部長、教授
常任理事	前原　常弘	理学部長、教授
常任理事	曲田　清維	退職教員の会会長、常任理事会議長、【総務企画担当】
常任理事	松村　暢彦	社会共創学部長、教授
常任理事	水口　和壽	退職教員の会副会長
常任理事	森本　千恵	理学同窓会副会長、松山東雲短期大学教授
常任理事	森脇　亮	工学部長、教授
理事	青野　治彦	法文学部事務課長
理事	青野　宏通	工学部同窓会（工業会）副理事長、理工学研究科（工）教授
理事	阿部　修一	教育学部同窓会事務局長
理事	阿部　晋	教育学部同窓会副会長
理事	伊月　知子	国際連携推進機構准教授、法文学部同窓会
理事	宇都宮　隆	社会共創学部事務課長
理事	大谷　勲	理学同窓会副会長
理事	大塚　陽介	農学部事務課長
理事	大本　盛嗣	工学部事務課長
理事	岡田　禎之	校友会中国支部長、法文学部同窓会
理事	梶原　佑介	理学部後援会会長
理事	河村　佳和	法文学部同窓会事務局長
理事	桐野　律子	教育学生支援部長
理事	楠　和俊	校友会近畿支部支部長、農学部同窓会（ユーカリ会）
理事	小清水正輝	医学部学務課長
理事	佐伯　由香	退職教員の会理事
理事	重川　光正	農学部後援会会長
理事	茂木　大志	法文学部後援会長
理事	清水　栄治	校友会首都圏支部支部長、法文学部同窓会
理事	須賀　義文	医学部同窓会副会長、すがクリニック消化器内科・婦人科院長
理事	高木　剛造	財務部財務課長
理事	高須賀政繁	農学部同窓会（ユーカリ会）
理事	高田　裕美	理学同窓会、理工学研究科（理）准教授
理事	高田　莉穂	社会共創学部同窓会監事
理事	沢嵜　一成	社会共創学部後援会会長
理事	鳥生　勉歳	法文学部同窓会副会長
理事	中林　ゆき	医学部同窓会副会長、医学系研究科講師
理事	西村　勝志	退職教員の会理事
理事	華谷　勝	工学部後援会会長
理事	濱田　桂子	退職職員会監事
理事	本多　恭子	理学部事務課長
理事	本多　伸光	医学部後援会会長
理事	丸橋　繁	医学部看護学科同窓会会長、附属病院副看護師長
理事	森　卓也	教育学部後援会会長
理事	吉田　一恵	退職職員会副会長
監事	武岡　英隆	退職教員の会理事
監事	野間須淳一	退職職員会
幹事	池内　直之	工学部同窓会（工業会）副会長
幹事	井堀　春生	工学部同窓会（工業会）監事、理工学研究科（工）教授
幹事	上谷　浩一	農学部同窓会（ユーカリ会）、農学研究科教授
幹事	小岡亜希子	医学部看護学科同窓会副会長、医学系研究科准教授
幹事	白方　大海	社会共創学部同窓会副会長
幹事	高田　敬士	法文学部同窓会
幹事	配川　幸一	農学部同窓会（ユーカリ会）、農学部技術室技術員
幹事	村上　朋子	教育学部同窓会副会長
幹事	矢野　裕司	教育学部同窓会副会長
幹事	渡邉　政富	工学部同窓会（工業会）理事長
顧問	仁科　弘重	愛媛大学長
相談役	髙橋　祐二	前校友会会長
参与	鮎川　恭三	元愛媛大学長

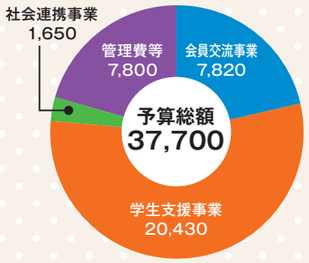
令和7年度決算及び令和8年度予算

令和7年度 校友会入会者数1,916人

■令和7年度決算内訳（単位：千円）



■令和8年度予算内訳（単位：千円）



EUAA 大学からのお知らせ

新施設E.U. Digital Commons（イー・ユー・デジタルコモンズ）が完成しました。

令和8年4月17日（金）、愛媛大学城北キャンパスにおいて、高度情報専門人材の育成に関して教育・研究・社会連携の新たな拠点となる「E.U. Digital Commons（イー・ユー・デジタルコモンズ）」の開所式を開催しました。

当日は、文部科学省をはじめとして愛媛県、関係機関、産業界の皆さまおよび愛媛大学の教職員など、多くの方々にご臨席いただきました。この施設は、デジタル技術を軸とした人材育成、研究開発、産学官連携及び社会実装を推進することを目的に整備したもので、多様な主体が集い、学び合い、共創する場として活用していきます。学生の学修活動やリスキリング教育の推進に加え、地域や産業界と連携した実践的な取組を通じて、地域社会のデジタル変革に貢献することを目指しています。

南加記念ホールで開催した開所式では、はじめに仁科弘重学長から、「E.U. Digital Commonsを拠点に、関係機関と連携して愛媛県の発展に貢献するデジタル人材育成を本格展開するので、今後ともご理解とご支援をお願いしたい」との挨拶がありました。続いて、文部科学省専門教育課の松本英登課長および愛媛県の中村時広知事（菅規行副知事の代読）からご祝辞を賜りました。

続いて、髙橋寛デジタル情報人材育成機構長から、施設の概要説明が行われたあと、E.U. Digital Commons玄関前へと場所を移し、関係者によるテープカットが行われました。式典終了後には、施設内の内覧会が開催され、参加者の方々は各スペースや設備について説明を受けながら、今後の活用に期待を寄せていました。

愛媛大学では、E.U. Digital Commonsを、学生・教職員のみならず、地域や企業、行政など多様な方々に活用していただき、デジタル社会を支える人材の育成と、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。





愛媛大学プロモーションビデオのご紹介

愛媛大学総務部広報課では、令和7年度から本学の魅力を映像で伝えるプロモーションビデオを制作しています。現在、学生生活や研究活動を紹介する動画のほか、入学式・学位記授与式のダイジェスト映像を愛媛大学公式YouTubeチャンネルで公開しています。今後は、愛媛大学×愛媛を紹介する「地域編」や、世界とつながる愛媛大学を描く「国際編」など、さまざまな切り口の動画制作も予定しています。ぜひご覧ください！

校友会の皆さまにとって、愛媛大学の「今」を知り、キャンパスで過ごした日々を懐かしく思い出していただく機会になれば幸いです。チャンネル登録もお願いいたします！

愛媛大学PV 2026#1



愛媛大学PV 2026#2



令和7年度学位記授与式



令和8年度入学式



チャンネル登録お願いします！

愛媛大学公式YouTubeチャンネル ▶▶▶

EUAA 校友会会員の皆様へ『WEB登録』のお願い

卒業生の皆様は、大学入学時に校友会へご入会いただいておりますが、卒業後の転勤、結婚等による住所変更を校友会事務局へご連絡されなかった場合、大学の近況や校友会のイベント情報が不達になってしまいます。

また、印刷や配送費用の値上がりは深刻で、今後は校友会報の発送先をWEB登録者中心にすることや、紙媒体から電子媒体への移行も検討せざるを得ない状況となっております。

まだWEB登録がお済みでない方は、お早めに二次元コードからのご登録をお願いいたします。初めてご登録いただいた方には、校友会オリジナルグッズをプレゼントしています。

WEB登録はこちら➡
※登録は無料です。

WEB登録特典

オリジナルグッズプレゼント！



トートバッグなど

（在庫等の状況により変わります）

※愛媛大学校友会の会員のみご登録が可能です。会員かどうか不明な場合はお問い合わせください。
※ご登録いただいた個人情報は、愛媛大学校友会が厳重に管理し、他の目的に使用することや第三者に提供することはありません。

お問い合わせ

愛媛大学校友会事務局
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
TEL:089-927-8610／E-mail:office@koyu.ehime-u.jp

校友会組織

愛媛大学

連携・支援

※正会員の資格は、校友会設立時（平成16年3月20日）以前と以後とで異なります。

愛媛大学校友会

会議
- 総会
- 理事会
- 常任理事会

役員
- 会長（理事）
- 副会長（理事）
- 顧問
- 相談役
- 参与
- 理事
- 監事
- 幹事

支部等
- 国内支部
- 海外支部

事務
- 事務局

正会員

校友会設立前	卒業生（同窓会会員）	校友会設立（平成16年3月20日）以前から次の同窓会会員である者 旧制松山高等学校同窓会、法文学部同窓会、教育学部同窓会 理学同窓会、医学部同窓会、医学部看護学科同窓会、 工学部同窓会（工業会）、農学部同窓会（ユーカリ会）
	退職教員の会会員 退職職員会会員	校友会設立（平成16年3月20日）以前から 退職教員の会会員、又は退職職員会会員である者
校友会設立後	卒業生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者
	後援会会員	各学部後援会会員（準会員が在学中の期間のみ正会員となります） 法文学部後援会、教育学部後援会、理学部後援会 医学部後援会、工学部後援会、農学部後援会 社会共創学部後援会
	大学教職員（退職者を含む）	校友会設立（平成16年3月20日）以降に入会した者 （退職後も正会員となります）
準会員	在学生	在学中に校友会に入会した者（卒業後は正会員になります）
賛助会員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体	